

# よかところ通信



2005年5月号

O2Farm【オーツーフーム】 大津勵志+耕太&愛梨  
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 589  
Tel&Fax : 0967-62-3730  
E-mail: [o2farm@aso.ne.jp](mailto:o2farm@aso.ne.jp)  
O2FarmWeb : [www.aso.ne.jp/reisi](http://www.aso.ne.jp/reisi)

## トピックス

- ゲストと共に田植え！
- 牛の子 3 頭がセリに
- 耕太 30 歳。
- ミミが 2 回目の発情。耕太が心配中。
- ドイツからのお客さん

九州地方では真夏のような暑い日が続いていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。



連休に田植えをしました！「おいしいお米になあれ！」と祈るような気持ちで植えていきます。今年の連休にはたくさんゲストが来て、田植えを手伝ってくれました。天候にも恵まれ、阿蘇五岳をバックに田植えをする姿は観光客の目を引いたようです。カメラを持った観光客が次々に車から出てきて、耕太や仲間たちを撮影していました。ジャンニズ並（！？）の人気に、いつもは動じない耕太もさすがに照れていました。田植えが終わったばかりの苗はまだか弱く見え、風が吹くと溺れないか心配になるほどです。でも 2、3 日もすれば根をおろしてしっかりと風に耐えるようになるのが不思議なくらいです。



その連休中 5 月 1 日に耕太が 30 歳の誕生日を迎えました。当日は雨が降っていたので、農作業はお休み。たまたま訪れた同級生らと一緒に祝いをしました。米作りも今年で 3 年目。責任感も出てきてたくましくなった耕太のこれからが楽しみです（「親バカ」ならぬ「妻バカ」！？）。

さて、少し話は遡りますが、4 月 25 日に「牛の子市」がありました。牛のセリは、偶数月の 25 日に開かれます。我が家からは 3 頭の子牛が出されました。我が家は「子取り」と呼ばれる繁殖農家で、母牛にタネをつけて子牛を生まれ、十ヶ月ほど育ててから、「肥育農家」と呼ばれる、牛を成牛に育てる農家に売ります。大事に育ててもらいたいね！



連休後、今度はドイツから二人のお客さんが来ました。実は私たち（耕太&エリ）が住んでいる家には、昔ドイツ人が住んでいたのです！大戦前、この家の長男さんは英国やドイツに渡り、ドイツ女性と結婚し、終戦間際にシベリア鉄道で帰国したのです。「ヨハナ」というのが彼女の名前。残念ながら若くして亡くなられてしまいましたが、村人たちは彼女のことを「おハナさん」とか「ハナコさん」と呼んで、よく覚えています。引越してきた時、片づけをしていたら古い手紙や写真が出てきました。昨年ドイツに行ったとき、それらを頼りに、ヨハナさんの親戚探しをしたのです。奇跡的に見つかったのは彼女の甥っ子。その甥っ子さんの娘が、ボーイフレンドと一緒にやってきたのです！ヨハナさんのお墓参りもしてもらい、自転車であちこちに出かけて南阿蘇を満喫して帰りました。ヨハナさんも喜んでくれたかな？

それでは、気持ちの良い初夏を満喫してくださいね！